



## 商品に関して

### Q1. シルクプラスター（アートデザイン／ヴェルサイユ）の原材料は何ですか？

- A. 繊維（シルク、セルロース、紡織）、天然ミネラル添加剤（バインダー）から作られております。アートデザインは紡織繊維（カーペットなどに使われる）ヴェルサイユはシルク繊維+金属糸が入っています。
- 水を入れる事で、天然ミネラル添加剤が溶けて、繊維に馴染むようになります。
- VOCフリーのエコ商品としてヨーロッパでは最高ランクの賞を受賞しています。

### Q2. 繊維壁との違いは何ですか？

- A. 繊維壁は1950年代に主に室内の壁や天井に用いられる左官仕上げ材料の一種です。
- 主原料はパルプや紙の綿状繊維、木紛などの粒状物を糸状にしたもの、無機質材料を混入したものとがあり、土壁状や砂壁状などのソフトな肌合いを持った内装仕上げ材。
- 施工が容易なため、当時は急速に普及した内装仕上げ材。
- シルクプラスターは繊維壁の進化版といったところです。デザインはヨーロッパならではのカラーバリエーションでフェルトやファブリックのようなモコモコ感、金属繊維のキラキラ感を表現できるのがシルクプラスターです、

### Q3. 繊維壁はポロボロ落ちてくるクレームが多く市場から消えていったのですが・・・

- A. シルクプラスターの商品はR&Dで常に商品改良・テストを続けております。シルクプラスターのどのブランドの商品もUV耐候性・耐久性がある品質で、シルクプラスター自体が不可抗力以外で剥がれる事はありません。

### Q4. シルクプラスター社について教えてください。

- A. シルクプラスター社は東欧バルト三国の一つのラトビアの首都リガにあるメーカーです。
- 創立は1997年。ヨーロッパ全域に販売代理店を持っており、北米・オーストラリア・中東・南米にも代理店があるため、ワールドワイドな展開をしております。日本では2020年から販売開始を始めております。

### Q5. シルクプラスターの主な特徴って何ですか？

- A. シルクプラスターは日本では馴染みのない「リキッドウォールペーパー」という市場の商品です。
- 日本で販売しているブランドはアートデザインとヴェルサイユという2つのブランドですが、20種類以上の様々なブランドを展開しております。
- ヨーロッパではDIY市場に展開しております。水を入れて混ぜる事で簡単に施工が可能です。
- 塗料や塗り壁材のように臭いが無く、割れなども目立ちにくい事、壁紙のようなジョイントも発生しないので、塗り壁と壁紙の利点をあわせた商材です。

### Q6. 調湿性・消臭性はありますか？

- A. シルクプラスターは繊維が原材料のため調湿性能はありません。
- 日本ではまだ未実験ですが、ラトビアでは防音テストの実験データがあります。

**Q7. アートデザインは「ほこり」が付着しただけ大丈夫ですか？**

- A. ほこりの発生の要因は静電気が発生してほこりが付着します。シルクプラスター社のすべての商品は静電気が帯電しないように、材料が帯電防止になっているためほこりが付きにくいです。

**Q8. ヴェルサイユ2の表面の金属繊維が手で擦ると取れてくるのですが？**

- A. ヴェルサイユ2は施工後に専用のニス材を塗布する必要があります。ニス材を塗布する事によって繊維のほつれを防止します。

**Q9. シルクプラスターの欠点は何ですか？**

- A. 原材料は繊維素材で水と混ぜて施工するため、低温・高湿度・換気不足の環境下で施工すると乾燥に非常に時間が掛かります。このような環境下では乾燥に1週間程度要する場合があります。施工後はなるべく、風通しをよく通気性を確保してください。

**Q10. メンテナンス（普段のお手入れ）方法について**

- A. 水に濡らして絞ったタオルや布で拭いてください。  
あまり多くの水分を含んだ布で拭くと、シルクプラスター自体が剥がれてしまう可能性があります。

**施工に関して****Q1. 施工／使用上の注意点について**

- A. ・施工可能な下地は無機質なボード（せっこうボード・コンクリート・無機塗料等）です。  
・木下地（ベニヤなど）に施工の場合はアク留め処理をしてからプライマーを塗布してください。  
・室温が8℃以下の場合は施工できません。冬期間など日中夜を通して8℃以下の場合は施工できません。  
・屋外は施工できません。室内でも水が直接掛かる場所（お風呂・シャワールーム等）では施工できません。  
・材料は一度、水を混ぜた場合で余った場合は、フィルム等に塗布して乾燥させて保管してください。水を含んだままタッパー等で保管しても材料が分離して水が腐敗してしまいます。

**Q2. 塗替え方法について**

- A. 既存のシルクプラスターに霧吹きで水を吹きかけて剥がすことは可能ですが、既存のシルクプラスターの上から新たにシルクプラスターを施工する事も可能です。